

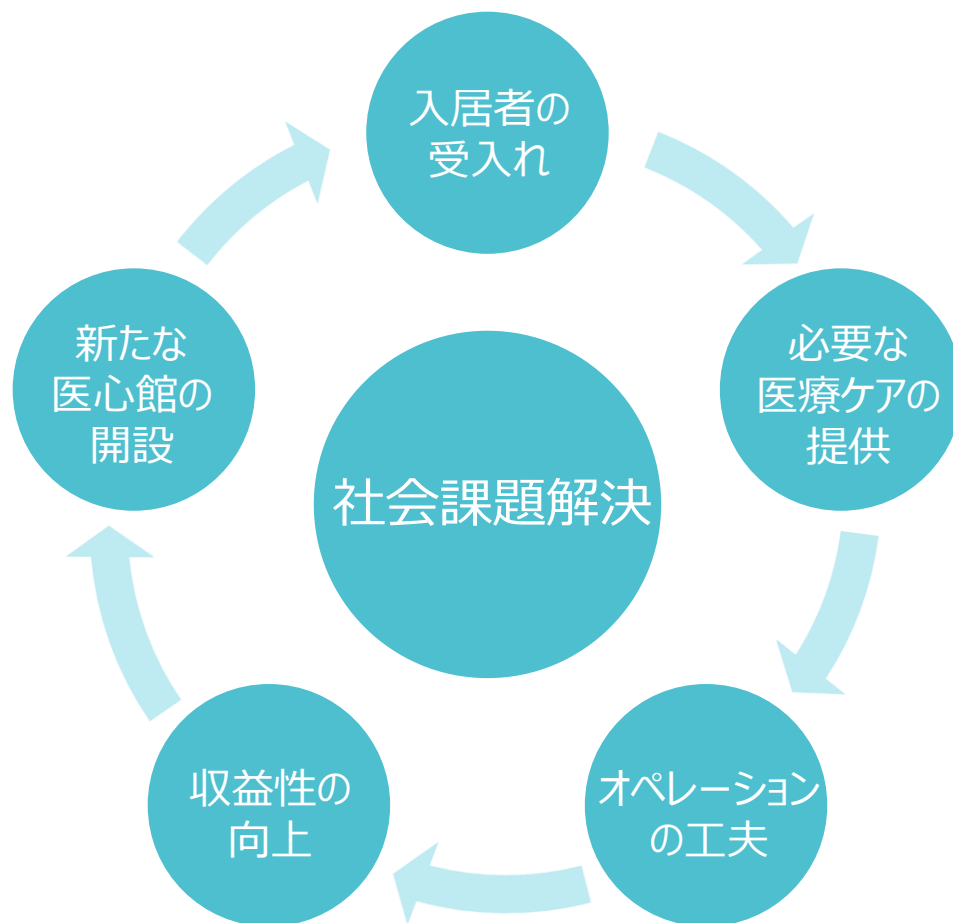


2022年9月期第1四半期  
**決算ハイライト**

株式会社アンビスホールディングス

2022年2月10日

## 社会課題解決型事業



国により入院日数の短縮と在宅への復帰が推し進められているなか、他の病院や施設ではお断りされることが多かった、がん末期の方、人工呼吸器の装着や気管切開で呼吸管理が必要な方、そして神経変性疾患を患う方などを、医心館は積極的に受け入れてきました。そして、これまで担当されてきた主治医やケアマネジャーの継続を原則とするなど、地域医療がよりうまく機能するためのサポーターであることを意識してきました。

私たちは退院後の行き先にお困りの方々が大切な時間を少しでも幸せな気持ちにできるよう、また地域医療の一翼となれるよう医心館を運営することを愚直に取り組んでいきたいと考えています。

医心館が、地域医療の活性化、コロナ対策で疲弊する医療従事者の疲弊軽減、医療の地域間格差の緩和の医療課題解決の一助になれば幸いです。

22年9月期第1四半期業績

(第1四半期実績) 売上高

50.4億円

(通期予想) 売上高

216.8億円  
(通期予想対比進捗率 : 23.3%)

(第1四半期実績) 営業利益

14.5億円  
(営業利益率 : 28.9%)

(通期予想) 営業利益

49.6億円  
(通期予想対比進捗率 : 29.4%)

- 新型コロナ患者を受け入れる医療機関の疲弊軽減に寄与するなど、医療依存度の高い患者の受け皿として地域医療体制の維持に微力ながら貢献。また、新型コロナ対策として、看護師・介護職を中心とした増員体制は継続
- 既存施設の稼働率が、安定稼働の目安である80~85%を上回る（87.4%）で推移し、首都圏を中心とした新規施設の立ち上がりが順調であることを踏まえ、第1四半期の業績は通期予想対比順調に推移
  - ✓ 売上高：50.4億円（通期予想対比進捗率23.3%）
  - ✓ 営業利益：14.5億円（通期予想対比進捗率29.4%）
  - ✓ 当期純利益：10.1億円（通期予想対比進捗率30.7%）
- 第1四半期の新規開設は、計画通り6施設の開設を実施し、21年12月末時点において、48施設（定員2,289名）を運営
  - ✓ 22年9月期：21年11月公表時の計画を上回る16施設の開設を予定。新たに6月に開設を決定した菊名は、他の介護事業者からの賃貸借契約引継ぎによる開設（詳細は後頁参照）
- 23年9月期には、北海道初進出となる医心館 東札幌を含め、既に4施設の開設を公表しており、3ヶ年計画で掲げている年間13施設程度の開設目安に向けて、今後も開設確定次第、順次公表予定
- 22年2月9日に詳細が決定した2022年度診療報酬改定による当社の業績への影響は軽微

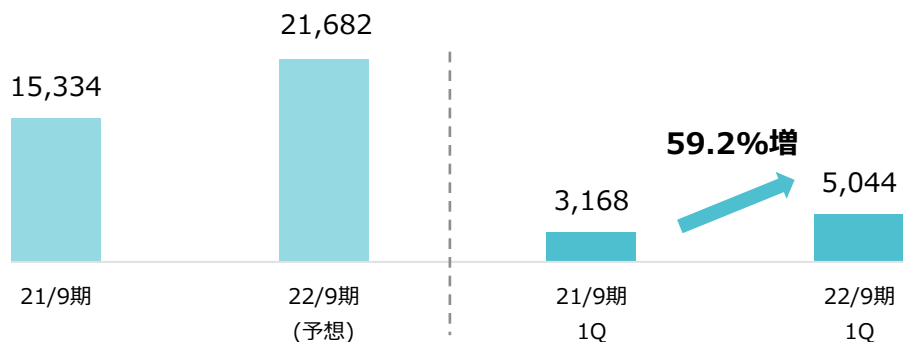
# 施設数・定員数の増加に伴い、売上・利益も着実に増加

- 前年同期末以降、施設数は15施設増加、定員数は約1.5倍増加し、売上高も比例して大幅に増加
- 増員体制を継続しつつも、オペレーションの工夫により高収益性を維持・改善

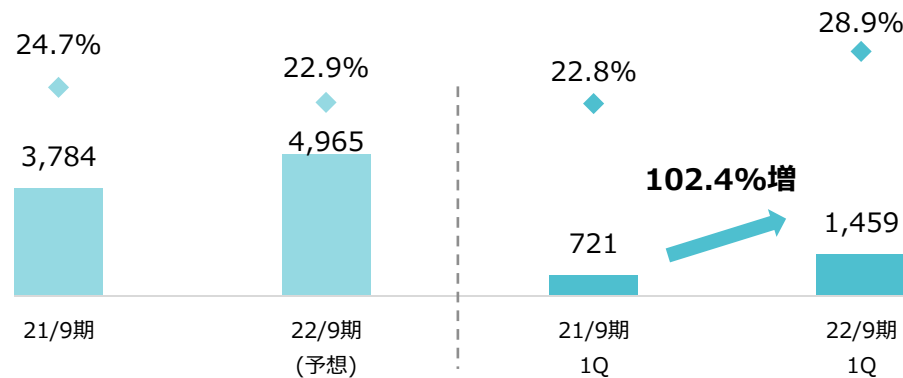
## 第1四半期実績及び通期予想に対する進捗

### 売上高

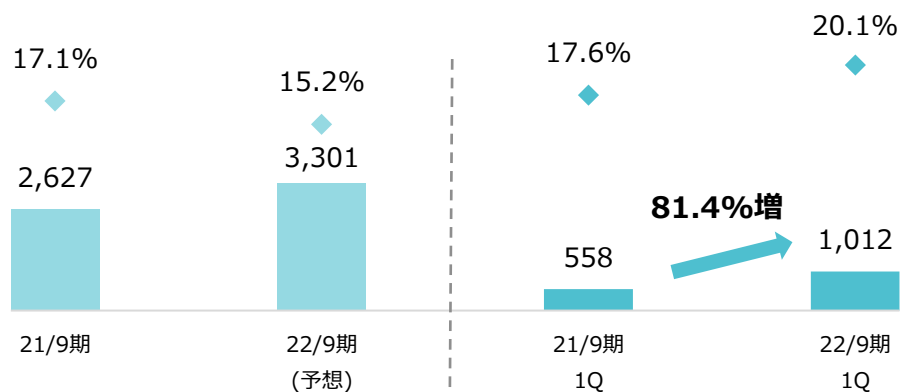
(百万円 / %)



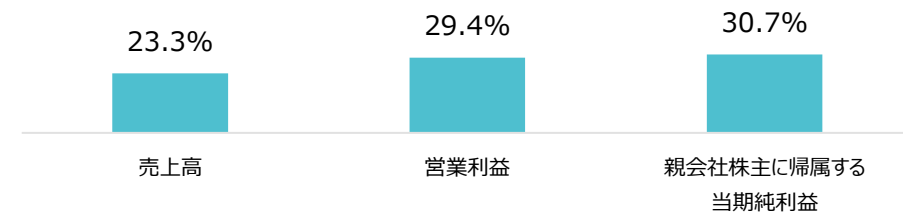
### 営業利益



### 親会社株主に帰属する当期純利益



### 通期予想対比進捗率



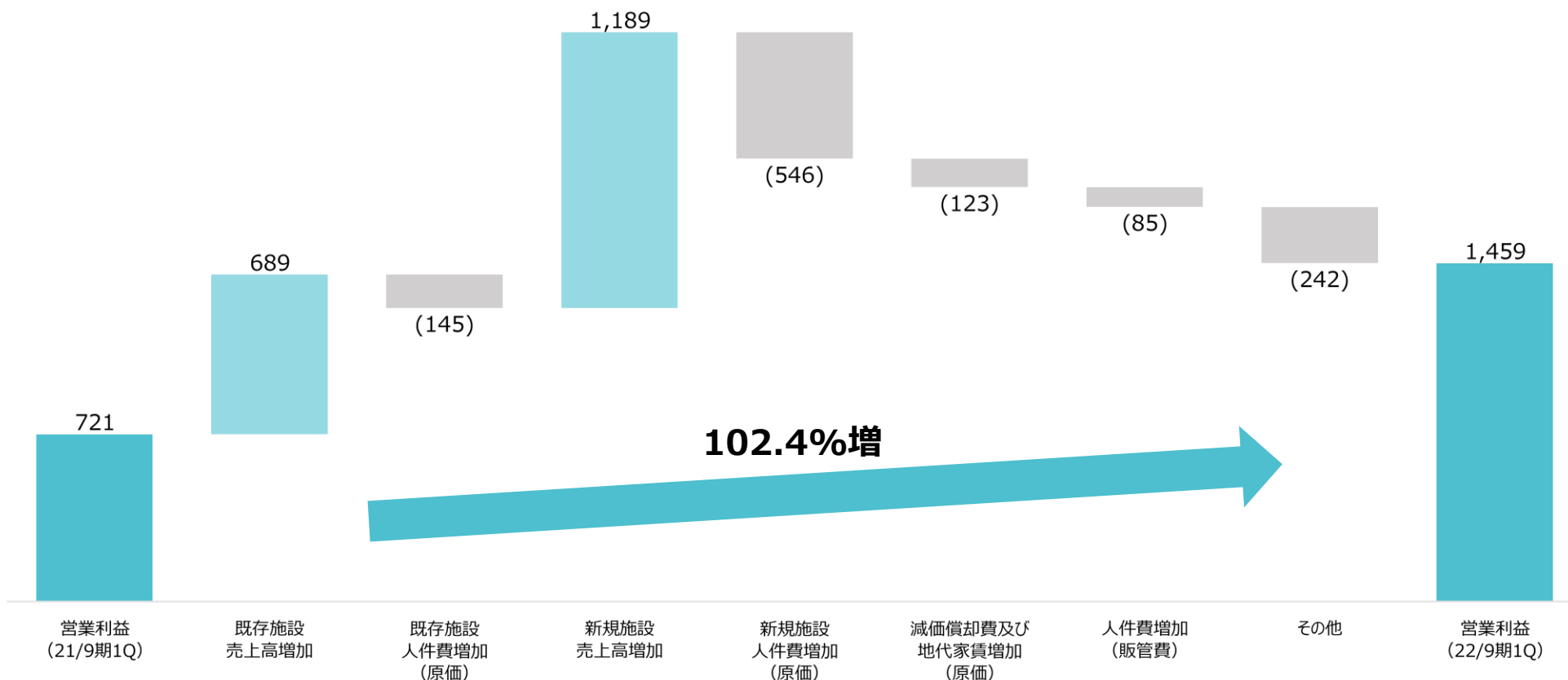
◆ : 売上高比

# 既存施設・新規施設共に稼働率は安定して推移

- 既存施設の稼働率（87.4%）、新規施設の稼働率（50~55%）<sup>(1)</sup>ともに順調に推移
- 施設数・定員数の増加に伴い、営業利益は比例して増加（20年12月末：33施設、21年12月末：48施設）

## 営業利益推移（21年9月期第1四半期 – 22年9月期第1四半期）

(百万円)



注：

1. 新規施設：21/9期第1四半期末にて未開設の施設（後頁同様） / 稼働率：中央値（12月末時点）

# 他の介護事業者からの賃貸借契約引継ぎによる医心館開設

- 賃借権の承継による開設のため、迅速かつ低コストでの開設を実現し、神奈川県におけるドミナント展開を加速
- 今後も自社建築案件に加え、年に1～2施設程度を目安に本件同様の案件を継続して進める予定

## 概要

- 医療機関・介護施設との連携の一環としての医心館開設
- ニチイケアパレスが介護付き有料老人ホーム「ニチイホーム 菊名」を近隣に移転するために現在の建物を退去
- アンビスは同建物の後継の賃借人となり、必要な改修工事等を実施した後に、医心館を開設

## ドミナント展開の加速（神奈川県）



① 横浜都筑	⑥ 湘南台
② 横浜立場	⑦ 本厚木
③ 東戸塚	⑧ 金沢文庫
④ 新横浜	⑨ 大和
⑤ 上大岡	⑩ 菊名
小田原	⑪ 横浜中山

(ドミナント展開に含めず) (10月開設予定)

## 戦略的意義

- 開設を予定している医心館 菊名は、横浜市では7施設目となり、ドミナント展開を加速
- 現在介護施設として使用されている建物であり、一部の設備については承継を予定しているため、初期投資を大幅に抑制することが可能

## タイムライン

- 21年12月：本件引継ぎを公表
- 22年4月：ニチイケアパレス退去、改修工事開始
- 22年6月：営業開始（定員55名）

- 22年9月期の開設数は当初予想を上回る16施設（825名）となる予定
- 今後も、首都圏を中心とする既進出地域でのドミナント形成を加速する方針

## 直近のトピック

菊名	他の介護事業者からの賃借権承継による開設
千葉駅前	千葉県初の大型施設（定員69名）
東札幌	道内初開設

## 21年10月以降の開設計画

開設時期	開設場所	総定員数 (名)
21年10月	瑞江、越谷、柏	158
21年11月	上尾、青森、東大宮	154
22年2月	大和、平和台	101
22年4月	つくば、上越、南流山	157
22年6月	静岡、菊名、新潟Ⅲ	153
22年8月	稲毛	50
22年9月	弘前	52
22年10月	東札幌、横浜中山、千葉駅前	171
22年11月	仙川	47

注：

1. 総定員数は、複数施設の定員数を合計したもの

## 全国の医心館



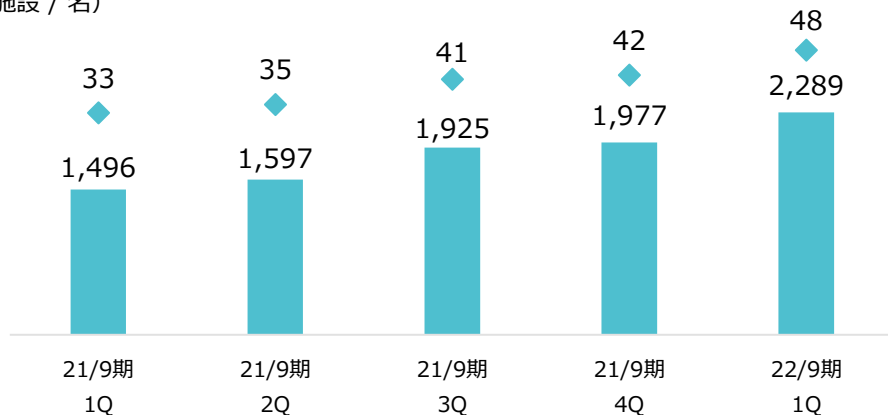


# 四半期業績推移 – 主要財務指標

## 直近1年間四半期業績推移

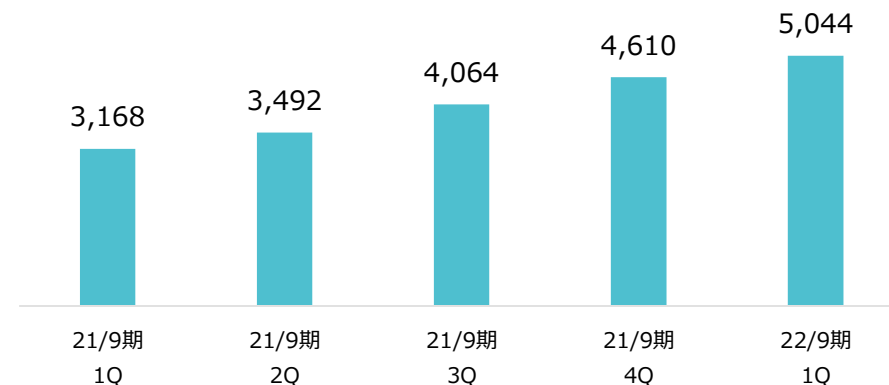
### 施設数 / 定員数

(施設 / 名)

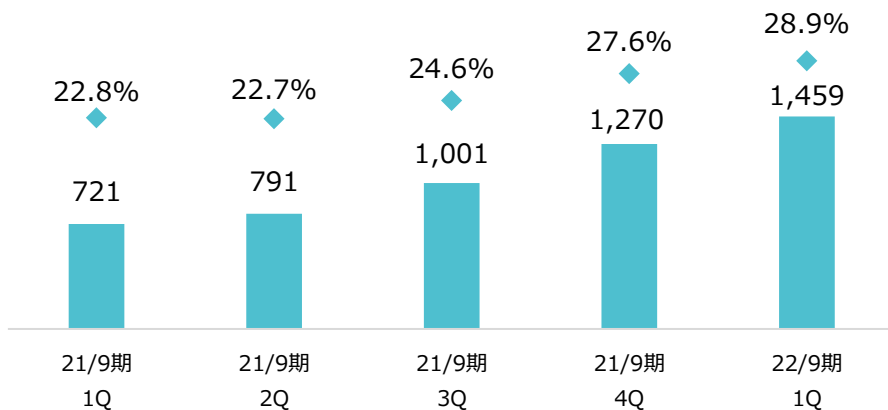


### 売上高

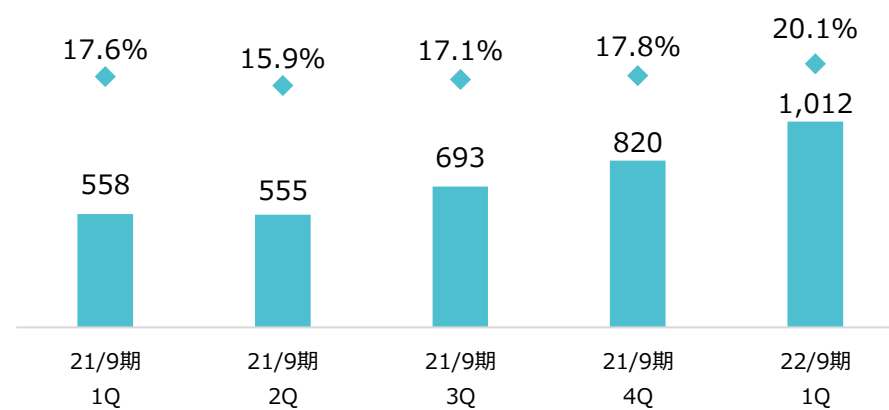
(百万円 / %)



### 営業利益



### 親会社株主に帰属する当期純利益



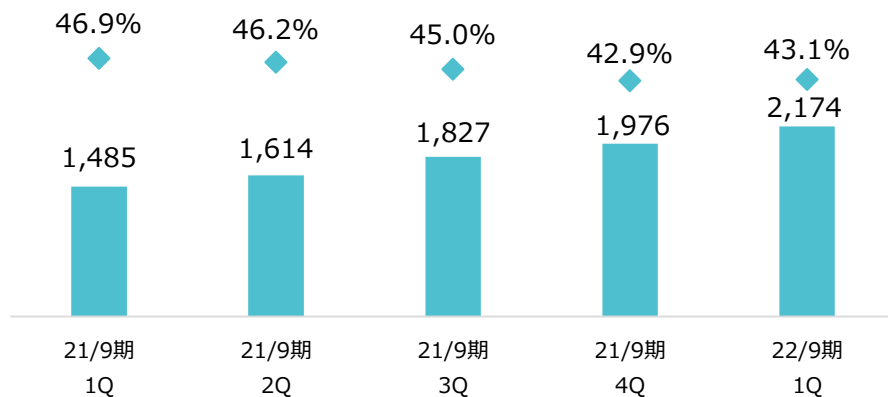
◆ : 売上高比

# 四半期業績推移 – 主要売上原価 / 販管費

## 直近1年間四半期業績推移

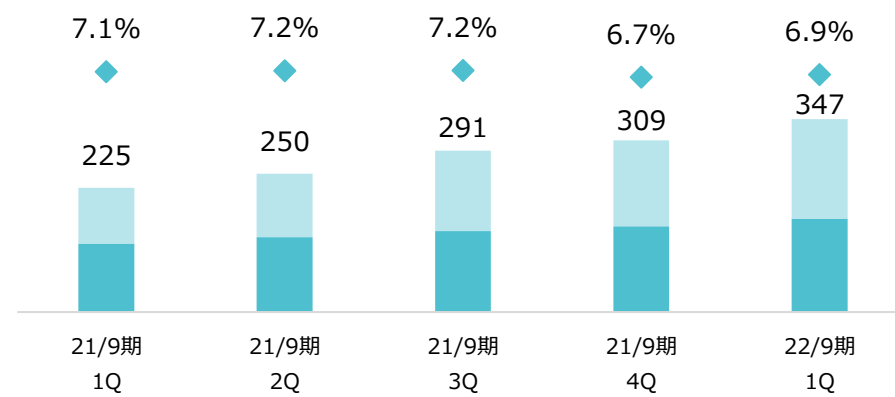
### 人件費（売上原価）

(百万円 / %)

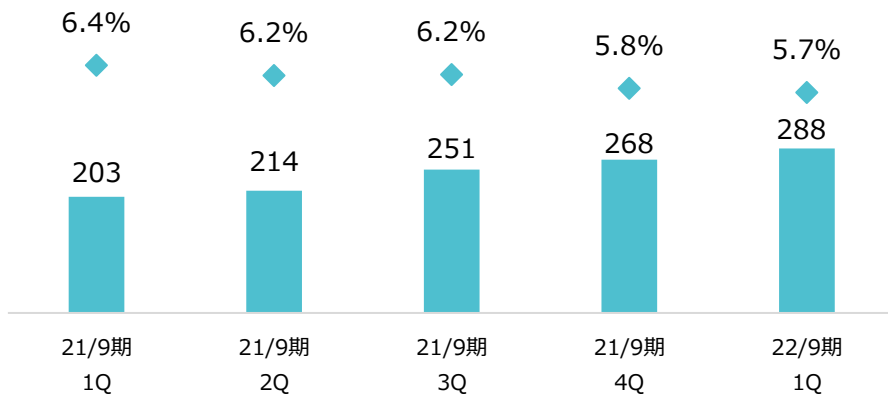


### 地代家賃及び減価償却費（売上原価）

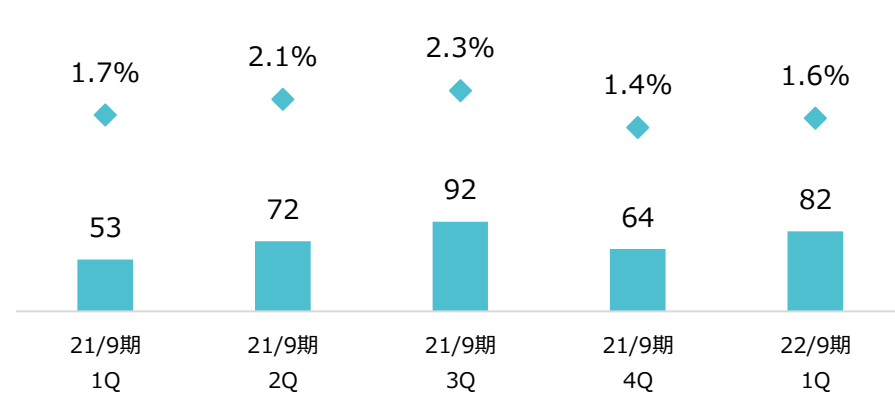
■地代家賃 ■減価償却費



### 人件費（販管費）



### 採用費（販管費）



◆ : 売上高比

## 財政状態概要

(百万円 / %)	20/9末	21/9末	21/12末	対21/9末 増減
<b>資産</b>	16,519	31,922	33,894	+6.2%
現金及び預金	3,335	11,192	10,586	(5.4%)
建物及び構築物（純額）	3,548	8,963	9,530	+6.3%
<b>負債</b>	11,264	15,580	16,759	+7.6%
借入金	6,250	8,967	9,725	+8.5%
<b>純資産</b>	5,255	16,341	17,135	+4.9%
<b>自己資本比率</b>	31.8%	51.2%	50.6%	(0.6pt)



## 參考資料

---

## Amvis 2023目標

### 施設数 / 定員数

**70施設 / 3,411名**  
(中長期目標 : 100施設 / 5,000名)

22年9月末 (予想) : 58施設 / 2,802名  
21年9月末 (実績) : 42施設 / 1,977名  
20年9月末 (実績) : 29施設 / 1,270名

### 営業利益

**67億円**  
(中長期目標 : 100億円)

22年9月期 (予想) : 49億円  
21年9月期 (実績) : 37億円  
20年9月期 (実績) : 18億円

### 売上高

**292億円**  
(中長期目標 : 450億円)

22年9月期 (予想) : 216億円  
21年9月期 (実績) : 153億円  
20年9月期 (実績) : 91億円

### 当期純利益 年平均成長率

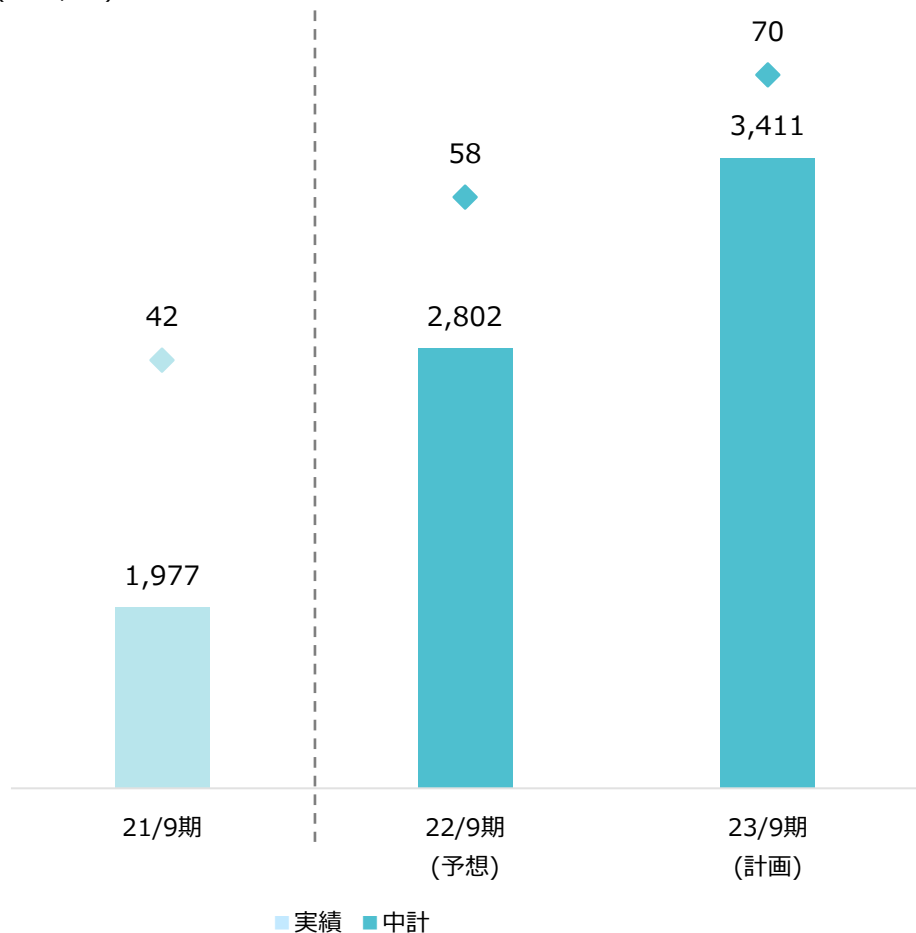
**30%台後半**  
(中長期目標 : 20%台)

20年9月期 – 23年9月期 (予想) : 53%

## Amvis 2023目標

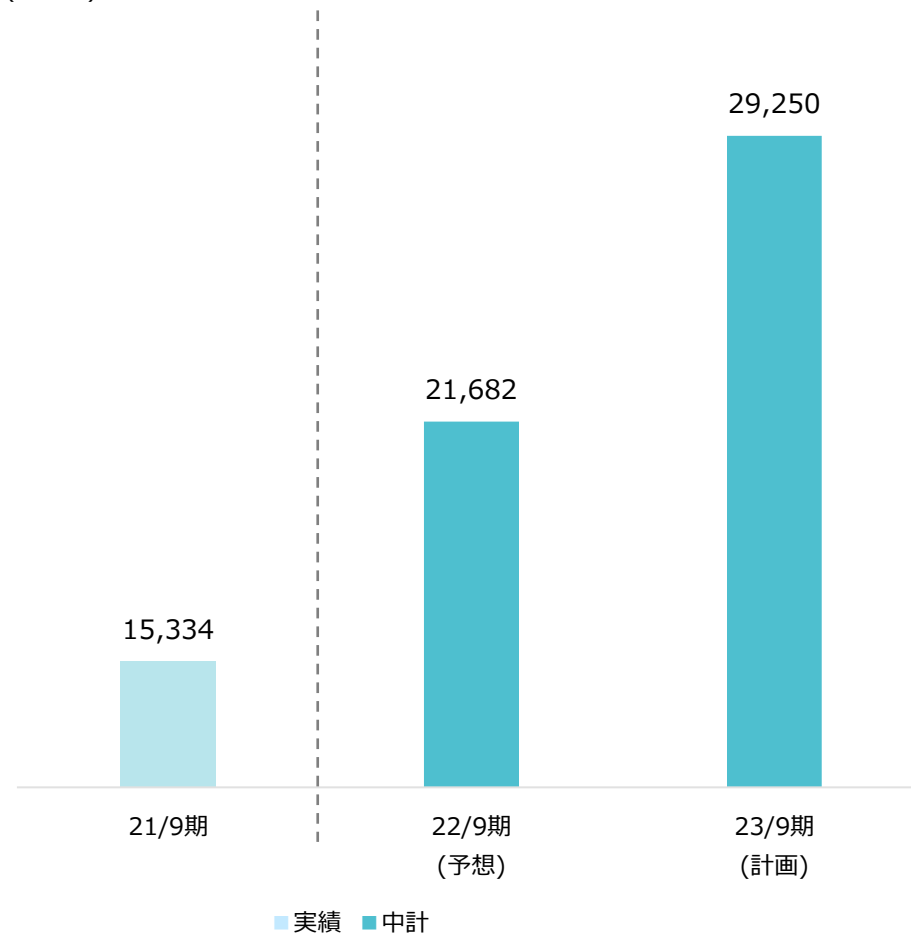
### 施設数 / 定員数

(施設 / 名)



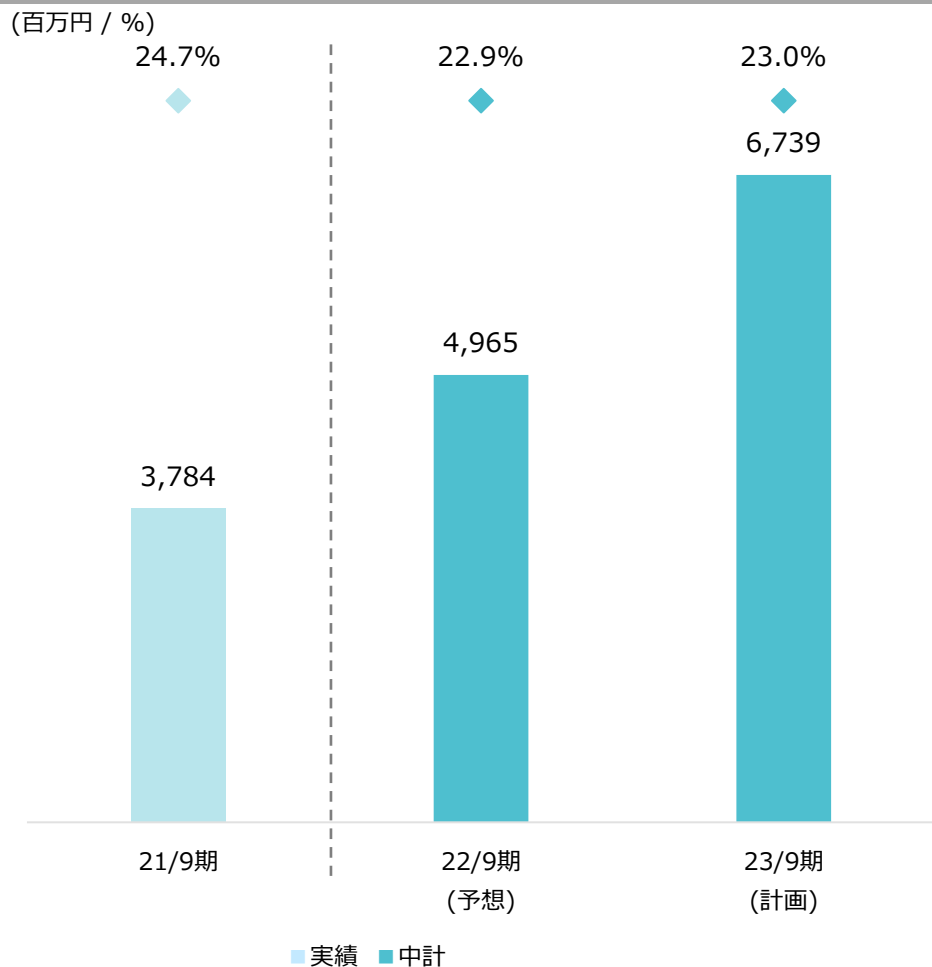
### 売上高

(百万円)

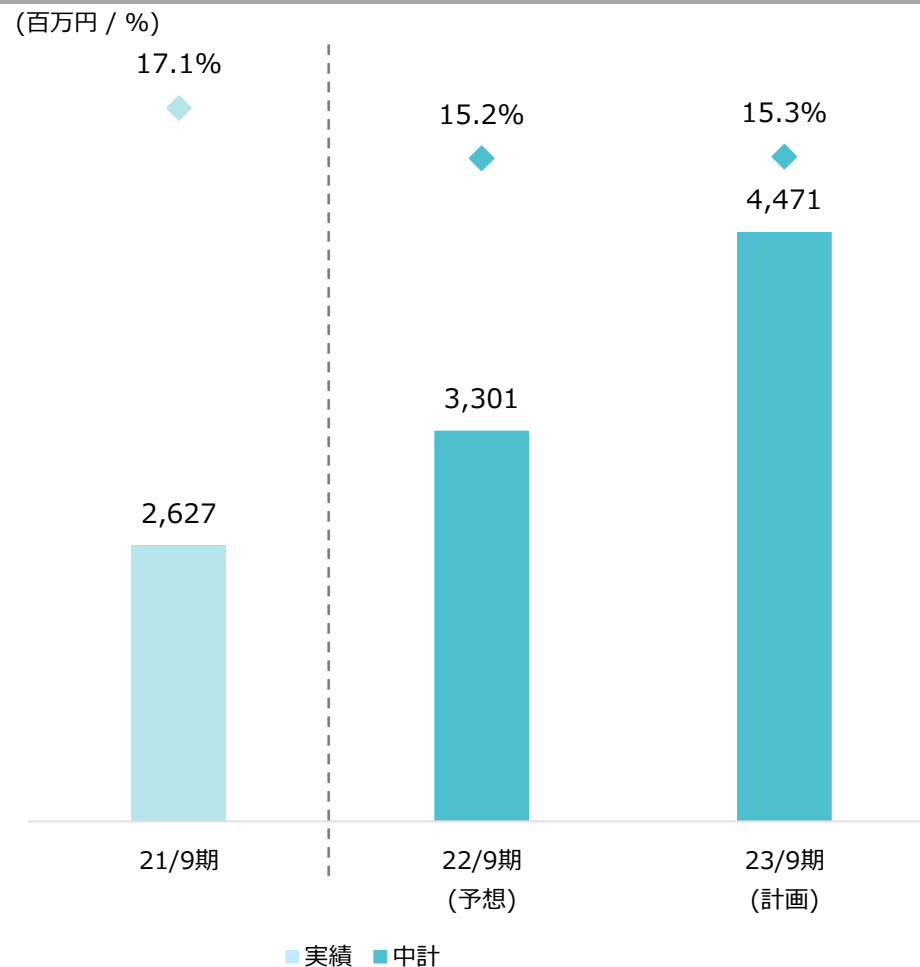


## Amvis 2023目標

### 営業利益 / 営業利益率



### 当期純利益 / 当期純利益率



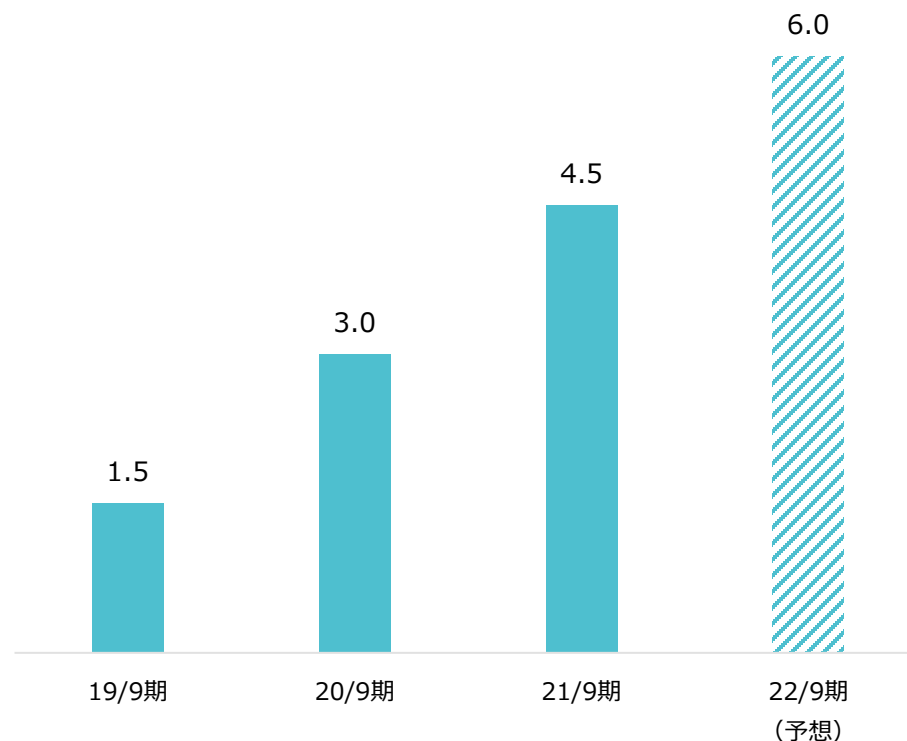
- 22年9期の1株当たり配当金は前年度対比1.5円増配の6円を予想。今後も1株当たり配当金を増額方針
- 引き続き成長の加速と株主還元のバランスを考慮し、企業価値の向上を企図

## 株主還元基本方針

- 株主に対する利益配分を重要な経営課題として捉え、医心館事業及びその周辺領域への事業展開と経営基盤の強化を図るための内部留保資金を確保しつつ、株主還元を実施し、企業価値の向上を企図
  - 株主配当：安定的な株主配当を基本とし、市場環境、規制動向、財務健全性等、総合的に勘案し、年1回の期末配当を実施

## 1株当たり配当金の推移<sup>(1)</sup>

(円)



注：

1. 20年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合での株式分割、22年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合での株式分割を行っているため、19/9期の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の1株当たり配当金の金額を記載



本資料には、当社に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の作成時点における予測等を基礎として記載されています。また、当該記述のために、一定の前提を使用しています。当該記述または前提は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、実現しない可能性があります。このような事態の原因となりうる不確実性やリスクは多数ございますが、詳細は、当社の決算短信、有価証券報告書をご参照下さい。なお、本資料における将来情報に関する記述は、上記のとおり本資料の日付時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

## 【お問い合わせ先】

株式会社アンビスホールディングス 財務部（IR担当）

電話：03-6262-5085 / Email：ir\_contact@amvis.co.jp